令和２年度使用小中学校教科用図書採択に係る
第１回選定委員会議事録

１　日　時　　令和元年５月２８日（火）１３：３０～１６：３０

２　場　所　　東広島市役所　北館２階　会議室２０１

３　出席委員　山田委員（委員長）、脇坂委員、佐々木委員、川委員、松浦委員、田中委員
　　※市場委員は欠席

４　事 務 局　小川指導課長、田川指導主事、高橋指導主事

５　議事要録

＜司会＞田川指導主事

（１）開会行事

・教育委員会が選定委員会に対し、令和２年度使用小中学校教科用図書採択に係る選定について諮問後、開会し、大垣学校教育部長が開会挨拶を行った。

・学校教育部長退出後、委員紹介、事務局紹介を行った。その後、小川指導課長が、今回の教科用図書採択の概要（「小中学校教科用図書採択に係る選定委員会規則」「令和２年度に東広島市立学校で使用する教科用図書の採択方針」「採択までの手続き」）についての説明を行った。

・続いて委員長の選出を行った。

・選出方法について委員に意見を図り、事務局より山田委員に委員長をお願いしたいと提案をし、満場一致で了承され選出された。

（２）協　議

・山田委員長が委員長席につき、挨拶を行った後、議事に入った。

（山　田）協議事項の「調査研究の観点」について、お諮りしていきます。この選定委員会の大きな役目として、来年度から使用する教科書の調査研究の事項を示すこととなっております。観点と視点について事務局より説明をお願いします。

（事務局）観点につきましては、広島県が示しているものと同一のものにしております。続いて、視点について、説明させていただきます。小学校の「特別の教科　道徳」につきましては、平成３１年度使用中学校「特別の教科　道徳」教科用図書調査研究の視点と同じものです。小学校の「特別の教科　道徳」を除くものにつきましては、平成３１年度使用小学校教科用図書調査研究の視点とほぼ同じものです。「内容の構成・配列・分量」という観点における視点を、「〇伝統や文化についての教育や理数教育の充実等、これからの学習指導を効果的に進める上での適切な内容の構成・配列・分量」から、配付資料にありますように、「〇伝統や文化についての教育の充実に関する内容の構成・配列・分量　〇教科横断的な学習の充実に関する内容の構成・配列・分量」に修正しております。
続いて、中学校についてでございます。中学校の「特別の教科　道徳」を除くものにつきましては、小学校の「特別の教科　道徳」を除くものと同じ視点です。

説明は以上でございます。

（山　田）確認ですが、今回は、中学校の「特別の教科　道徳」を除く、小中学校全ての教科書を選定するということでよいでしょうか。

（事務局）はい。

（山　田）それと、観点と視点については、広島県が示したものに準じていくということでよいでしょうか。

（事務局）はい。

（山　田）いきなり意見をいただくというのも難しいので、教科書を見ていただく時間を取ろうと思います。そのうえで、観点等についてご意見をいただけたらと思います。時間は１５分程度取らせていただきます。

【教科書の閲覧】

（山　田）それでは、協議に戻りたいと思います。何かご意見等ございますでしょうか。

【時間をとる】

この観点、視点に基づいて調査員の先生方に調査をしていただいて、それを基に我々が案を立てるという形になります。観点、視点はこの形でよろしいでしょうか。

（委　員）はい。

それでは、この観点、視点でまとめさせていただきます。

その後、第２回選定委員会を７月９日（火）に、第３回選定委員会を７月１６日（火）に実施することを決定し閉会した。